

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	7 月	25 日	記入者	垣内 博久
調査者名	大谷	垣内	久門		

文化財名	鴨都波神社祭礼渡御図絵馬				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input checked="" type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1996年(平成8)3月22日				
所在地	御所市宮前町514				
所有者 管理者	鴨都波神社				
員数	一面(縦159cm横220cm)				
時代区分	江戸時代天和2年(1682)				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	なし				
公開	事前に申し込めば拝観可				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足(神社で出来る保存としては社務所内設置の現状がベスト)				
当面の課題	元々は参集殿に掛けられていたが現在は社務所床の間に台座を作って保存されているため、340年近く経過しているが良く色や絵が残っている。剥離はない。台風等の際は特に気を付けているとのこと。現在の保存で問題はないと思われる。				
今後の課題	上記にかかわらず、これから年月が経過すれば次第に劣化するのは当然であり、現在の良い状態のレプリカを作成して置くことが必要ではないか。				
その他 (由緒など)	天和2年に地元の庄屋だったという久保龍梅軒利勝により奉納された。弘化4年(1847)に子孫の久保山慮により補筆修復(額面に記載)。作者不詳。行列の組立から室町時代に盛んに行われていた風流囃子物による祭礼渡御の系統に属する。				
コメント	先代宮司の松本広澄名誉宮司にお話を伺いました。丁寧親切な対応に感謝です。今まで見てきた同様の絵馬と比較して非常に保存状態が良い。雨風の影響を受けやすい参集殿から社務所の室内に移し、大きいサイズのため現状の床置きになったのが良かったか。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	7 月	25 日	記入者	垣内 博久
調査者名	大谷	垣内	久門		

文化財名	鴨都波神社祭礼渡御図絵馬
------	--------------

拝殿	社務所床の間の絵馬全面
----	-------------



右上部(馬に乗る宮司)	中央上部(鉾・神饌・獅子・僧・巫女)
-------------	--------------------



中央下部(風流傘)	左上部(母衣武者行列)
-----------	-------------

